



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

ROTARY 2000:
ACT WITH
CONSISTENCY
CREDIBILITY
CONTINUITY



ロータリー2000:
活動は—堅実、
信望、持続

1999~2000年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリー理解推進月間

第626回 平成12年 1月26日(水)

〔本日のプログラム〕

1. 点 鐘
2. ロータリーソング
「それでござロータリー」
3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 委員会報告
7. 点 鐘

次回予告

★ 2月 2日(水)
世界理解プログラム
2月セレモニー
理事・役員会

★ 2月 9日(水)
夜間例会
新会員卓話
江崎 富治君

佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週水曜日(12:30~13:30) 会長 福井 輝文
例会場 石崎浜荘 ☎0985-73-1913 副会長 梶田與之助
事務局 佐土原町大字下野原3887-17 幹事 恒吉 正志
☎880-0212 会計 林 厚雄
TEL&FAX 0985-73-7170 銀行 賬 池田 仁志

第625回例会記録 (2000.1.19)

☆会長の時間

会長 福井 輝文君

皆様 今日は
第625回の例会です。
本年度のIM(インターナショナルミーティング)が来る
3月21日(火)に開催されます。
それに向けての会長の打合せ会が、当月
21日(金)に行われます。
IMの参加者については、登録票がつき次第、検討したいと思います。

本日もお手元に配付しました「最適循環への挑戦」のコピーに基づき話を進めて行きます。

先日のテレビ「サンデーモーニング」
の中でもゴミの問題が討議されていました。
ゴミ箱を置くか、置かないか、
置かなければ、ゴミを投げ捨てる、置けば
その処理で費用問題がある、この手元
のコピーにもあるように「分別すればす
るほどコストは増える」としています。

話は前後しますけど、1月10日は
【成人の日】でした。
我々の時代は式に参加すると、必ず町長
や来賓の人たちの話を神妙に聞いたもの
でしたが、今は、式会場に入る者が半分、
会場の外でたむろしている者が半分、
且つ会場内でも雑談に耽る者、携帯電話
を使っている者、騒いでいる者、がいる
とかで、主催者側も大変困っておられる
…との話でした。

環境問題とも関わることですが、今モ
ラルが非常に問われる時代だと思います。
「昔は違った」などと若者に注意すると

又それが問題になる…

私もそうですが、戦後生まれの親は、
子供に躾ができない親が多いのではないか
ろうかと思います。

自由という言葉の履き違えをしている面
が多々あります。

昔の親は厳しく教育したものでした。

ゴミの問題もモラルの問題だと思います。

このコピーにもあるように、佐賀市では
早くから6分野の分別収集法を導入し
ている様です。

ゴミの分別収集、ゴミの減量化、等々
我々国民一人一人の意識改革が環境悪化
への歴止めになり、最適な地球環境に変
えて行く原動力になるのではないかと思
います。



☆幹事報告

幹事代行 吉田 康一郎君

例会変更通知はありません。

1月24日(月)市郡7クラブ幹事会
が、ホテルメリディアン於て、午後6時半より、宮崎西クラブ担当で開かれます。

会長のいない、幹事だけの会ですので、
普段聞けない意見が聞かれたりして、大
変勉強になります。

私が幹事代行で出席致します。

☆出席報告

委員長 柳田光寛君

会員数	26名
例会出席者	19名
出席率	73%
メーティング者数	3名
修正出席率	85%
欠席者名	鈴木、鶴井、林(卓)、林

半年間の無欠席者を発表致します。

福井輝文君、吉田康一郎君、林厚雄君、
田村勝二君、浜田松太郎君、山脇忍君、
正岡文郁君、

以上の7名です。若し、漏れている方
がありましたら、私の方まで、申し出て
下さい。

次回にでも表彰します。

☆親睦委員会

委員長 吉田康一郎君

親睦旅行について

このことは先週にも申し上げましたけ
ど、参加者数と日時、場所、等が未だ未
定です。

行き先を一応国外を考えてみましたが
パスポートの問題やら、色々ありますので、
国内の方が良いのではないかと思つて
ております。

又、富高君に相談して、最善の案を出
そうと思いますので、是非沢山の参加を
お願い致します。

☆国際奉仕委員会

委員長 江崎富治君

ユネスコ・世界寺小屋運動への協力を！

標記について、井ノ上繁ガバナーより
協力の依頼が来ております。

書き損じはがき1枚で、インドではノ
ート3冊を購入することができるとい
うことです。

募金箱もまいっておりませんので、書き
損じはがき、募金を今月一杯集めます。

御協力をお願いします。

♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡

Happy Voice

今月で64回目の誕生日を迎えること
になります。

あと何年生きられることやら？

のんびりいきたいものです。

記念品、有り難うございました。

御厚礼申し上げます。

正岡文郁

♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡ ♡



☆ R 情報委員会より

委員長 垂水 敏雄君

1月はロータリー理解推進月間です。これに関連して、竹下巖地区R情報委員長より次のような主旨の書簡が配布されましたので、参考までに皆さんにお伝えいたします。

『1905年にシカゴにおいて、青年弁護士ポール・ハリスほか3名によって創立されたRCは、その後“職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・クラブ奉仕”の思想が確立し、95年を経過した今日では、世界の162の国に29,728クラブ、1,193,481人の会員を擁する巨大な集団へと発展した。

しかし組織が巨大化するにつれ、次第に精神的なものより行動的なロータリーを形成し始め、最近は国際ロータリー指導の、やや規則に束縛された画一化されたRCへと変貌しつつあるように思われる。その結果、当初のように、各会員がロータリーを楽しみながら真剣に論議しロータリーを作り上げていくといった主体性を失い、ロータリアンとしての自覚と行動に方向を失いかけている傾向が見られる。さらに、1年単位のRC役員任期中の実績を意識するあまり、基本的なロータリーの精神を維持することを忘れ、最も大切な会員相互の結束と相互扶助による信頼関係が薄れ、ロータリアンであることの喜びを享受できなくなってきたいるような気がする。

もちろん奉仕という崇高な行為による喜びのチャンスに恵まれることはあるとしても、自らこれを選択し行動する意欲の醸成の場としての例会の在り方も考えなければならないと思う。国際ロータリーは指示する組織ではなく、世界に散在

するRCを連携させ、ロータリーとしての基本的な精神とルールを確立し、それを等しく普及させながら支援するという意味での指導的役割を果たす機関であると思う。

具体的なロータリーの理解と行動は、それぞれ違った環境にあるクラブ・会員個人が独自性を発揮して作り上げ、地域に密着した自分たちでできる活動を選択して行かなければならないと思う。その原動力となるのが例会であり、ロータリーを享受する姿勢であると考える。

そして、その最も大切な方策が会員相互の親睦であり、信頼関係ではないだろうか。ロータリーの発生と発展がそうであったように、良き友を得て多くを学び、そこから生み出されるエネルギーをもって社会に貢献できる喜びを得る。

この原点を私達は今一度見直して、そのための例会の在り方、奉仕の在り方、そして国際ロータリーに期待するものを見出していくことが、自ずと会員増強、退会防止にもつながっていくのではないかと考える。

今年は人類にとってもまたとない記念すべき西暦2000年である。また国際ロータリーもあと5年すれば創立100周年を迎えることになる。会員の減少や多様化した時代の中にあってロータリアンとしての意識の低下など、ロータリーも大きな曲がり角に来ているが、私達はこれまでのロータリーの輝かしい実績を踏まえて、来たるべき100周年へ向けて、これからロータリーを身近な、私達のロータリーとして考えて行かなければならないと思う。ロータリアンであることに喜びと誇りを身をもって味わえるようなRCつくりを目指しながら。』